



# 城南中だより

学校教育目標  
希望と愛をはぐくむ  
美と活力の学校

1月号 令和8年1月8日発行 第11号

〒339-0034 さいたま市岩槻区笹久保577 <http://jounan-j.saitama-city.ed.jp/>  
Tel. 048-798-0007 さわやか相談室直通 048-797-0514

明けましておめでとうございます 今年もよろしくお願ひします  
本校と関わりのある皆様とのつながりを益々大切にして参ります

## ひのえうま 「丙午」の年

校長 吉原 誠士

「丙」は古代の考え方では「火」を表し、関連して「朱色」「夏」「南」などを当てはめていたそうで、「明るい」「温かい」「華やか」などの単語につながります。また、「午」は方位で南を意味し、昼の12時は太陽が一番高く昇り真南に位置する「正午」となります\*。「午」という語からは「お日様」「最高の高み」「勢い」などの言葉が連想されます。このような歴史的・文化的背景を知り、1年の目標を考えるのも面白いかもしれません。

もちろん、私は元々が理科教員ですから、『「丙午」の年にどんな事件が多い』とか「この年に生まれた人の性格は云々」といった「迷信」の類に乗る気はありません。しかし、一語一語に伴う肯定的なイメージを頭に置くことで気分は上向きになりますし、そのような気分の中で思考を重ねると活動の具体的なアイデアや解決策が次々と湧いてきます。この流れを活かして、苦しい中であっても教員という仕事を楽しむことができました。今年はいよいよ校長としての最終局面を迎えます。常に明るく、熱く、最高を目指し、元気いっぱい1年間をおくるつもりです。

本格的に取り組んで2年となる「花笑み教育」は、新和小と和土小の校長先生と強力な3人タッグを組んで大きな進展がありました。年末から年始にかけてイオンモール浦和美園の説明ボード、旭屋書店での児童・生徒によるお勧め本のポップ紹介があり、この3連休明けには新制服が各店舗に揃います。これらは地域へのお知らせの意味で極めて効果的でした。今後は「目に留まる」企画から「心に残る」ように日常の学校教育の中身で成果を挙げ、浸透を図ることが大きな目標になります。発展途上の「花笑み」を最高の高みにもっていきたいという希望に燃えているのです。

しかし、この地域の子どもたちのよさである「優しさ」を残すことにも留意しなければなりません。勢いに任せるだけではなく、時には立ち止まってでも軌道修正を図る余裕を忘れないようにしたいものです。「花笑み学校」でどのような夢を思い描こうとも、自問自答という「制御」を加えることは「丙午」の年に「炎上」を防ぐカギになりそうです。学校としては判断材料を集め、方向性をはっきりさせ、変化に応じた決定と行動を心がけます。これまで以上に3校の教職員が結束し、本校区の保護者、地域の方々との協働を進めたいと思っています。よろしくお願ひ致します。

\* 昼の11時頃からの約2時間が「午の刻」で「正午」はその真ん中で太陽の南中時刻である。地球は自転しているので東にある街ほど先に南中する、つまり街々で南中のタイミングが異なることになる。これでは街ごとの正午がバラバラになって国内の時刻が統一できない不便が生じる。そこで日本は明石市(東経135°)での南中を「日本標準時刻」(時計上の12時)とする。さいたま市では12時よりも前に南中となる。

